

I 9月補正予算案の主な施策

1 新型コロナウイルス感染症対策と経済の活性化

(1) 感染症対策

- 入院患者受入れのための空床・休床確保、クラスター発生施設等への医療従事者派遣、入院医療費、PCR検査体制、軽症者等のための宿泊施設確保等については、これまでに発生した患者数の動向等を踏まえ、7月に作成した患者推計及び病床確保計画に基づき、再積算した上で、年度末までの所要額を計上します。
- 空床・休床確保事業のうち、ICU・HCU以外の休床分については、国基準補助単価が低く、医療機関の負担が大きいことから、県独自に補助単価を1日1床当たり1万円引き上げて支援することで、患者受入体制の強化を図ります。
- また、体外式膜型人工肺（ECMO）、人工呼吸器などの医療機関における設備整備については、最大入院患者数見込みに対応できる機器数を確保するための所要額を計上します。
- 感染症の影響により収入が減少した世帯の方への生活福祉資金の貸付については、これまでの動向を踏まえて貸付原資をさらに積み立てます。
- 地域の公共交通事業者（乗合バス、地域鉄道、タクシー）が行う車両消毒などの感染予防対策の取組を支援するため、車両台数及び駅数に応じた支援金を新たに給付します。

・感染症患者受入れのための空床確保等事業	18,630,000千円（14頁）
・医療機関における設備整備	3,500,000千円（15頁）
・医療機関向け個人防護具・消毒液の確保・配布	708,000千円（15頁）
・クラスター発生施設等への医療従事者派遣	11,790千円（15頁）
・入院医療費等の公費負担	630,000千円（16頁）
・PCR検査体制の強化	968,000千円（16頁）
・軽症者等のための宿泊施設確保事業	3,651,000千円（16頁）
・生活福祉資金貸付事業推進費補助金	8,600,000千円（17頁）
・地域公共交通臨時支援事業【新規】	263,000千円（17頁）

(2) 経済の活性化

○ 県内経済の早期回復や新たな生活様式の実践を進める取組を、県民のみなさまとともに推進するため、「ちばと一緒に！」をキャッチコピーに、各分野が連携し統一キャンペーンを実施していきます。

◇ 観光については、宿泊者に対して抽選で行う、1人当たり5,000円分のキャッシュバック、及び千葉ならではのおもてなしを提供するWelcome to CHIBAキャンペーンの対象者を増やします。

◇ 消費が落ち込んだ県産農林水産物については、旬や季節に合わせたプレゼントキャンペーンや情報発信等を実施し、需要の回復を図ります。

◇ 音楽でちばを元気にするため、千葉交響楽団と、県内各地域の高等学校吹奏楽部の生徒が連携した演奏会や、地域の子どもたちと共演するファミリーコンサートを実施します。

○ 売上高が前年同月比50%以上減少している中小企業等に対して、最大40万円を支給する中小企業再建支援金については、要件となる売上減少の比較期間を12月まで延長するとともに、7月及び8月の感染症再拡大を踏まえ、新たに、6月以降の連続する3か月の売上高が前年比30%以上減少する事業者も支援します。

○ 非対面型ビジネスへの転換など、新しい生活様式に対応するために中小企業等が行う設備投資を後押しするため、国のものづくり補助金に上乗せで助成するとともに、コロナ禍にあっても優良な中小企業等の事業承継を支援するため、専門家が直接訪問し相談等に応じます。

・「ちばと一緒に！」キャンペーン事業～まごころのチカラ～【新規】3,420,758千円（18頁）

（主なもの）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ・「ちばと一緒に！」観光キャンペーン事業 | 2,802,369千円 |
| ・「ちばと一緒に！」千葉の農林水産物キャンペーン | 150,000千円 |
| ・「ちばと一緒に！」コンサート開催事業 | 14,000千円 |
| ・千葉県中小企業再建支援事業 | 8,200,000千円（20頁） |
| ・新しい生活様式に向けた設備投資補助事業【新規】 | 1,030,000千円（20頁） |
| ・事業承継支援緊急対策事業【新規】 | 45,000千円（21頁） |

2 くらしの安全・安心の確立

- **高齢者福祉施設**における入所者等の安全を確保するため、**非常用自家発電設備等**の整備に対し助成します。
- 全国で多発する水害を踏まえ、よりきめ細かに河川の状況を監視する必要があることから、増水時に稼働する防災用の**危機管理型水位計の設置**をさらに進め、水防体制の強化を図ります。
- **令和元年度**に全国で、土砂災害警戒区域の指定を予定していなかった区域でも**土砂災害**が発生したことを踏まえ、県内市町村からの情報提供などに基づき、危険箇所について、**追加の基礎調査**を実施します。
また、激甚災害においても、対象戸数が少なく、**既存の支援制度の対象とならない**、土砂崩落等対策工事について、**市町村と協調して支援**を行います。
- 切迫した犯罪事案等の発生時において、迅速かつ的確な現状把握等を行い、早期に初動体制を確立するため、警察本部と各警察署間等における**Web会議システム**を導入します。

・ 高齢者福祉施設整備事業補助	296,320千円 (22頁)
・ 水防事業	58,000千円 (22頁)
・ 土砂災害警戒対策事業	110,000千円 (22頁)
・ 土砂災害対策支援事業補助金【新規】	10,000千円 (22頁)
・ 県警Web会議システムの整備【新規】	60,000千円 (23頁)

3 その他

- **袖ヶ浦福祉センター**については、利用者の方全員の民間施設への移行を行った上で、令和4年度末に廃止する予定であることから、**受入先となる民間施設の整備に要する費用の助成**を増額するとともに、移行に当たり、利用者本人の意思を最大限尊重することができるよう、センターに**アドバイザー**を配置します。
また、重度の強度行動障害のある方が最も適した暮らしの場を選択できるよう、有識者や施設関係者等による「(仮称)暮らしの場支援会議」を設置し、県全体で支援していきます。

- 30代半ばから40代半ばの**就職氷河期**世代を中心とした就職希望者の就職・再就職を図るため、各種支援プログラムや就職後の定着支援などを実施します。
- **地域水産業の活性化**を図るため、漁業協同組合が浜の活力再生プランに基づき実施する、収益向上のための**施設整備**等に助成するとともに、防潮網の設置など、近年、不作が続いている**ノリ養殖**に対する取組を支援します。
- 建物の老朽化等が進んでいる救急医療センター及び精神科医療センターについては、「(仮称)千葉県総合救急災害医療センター」として統合し、あわせて、精神保健福祉センターを施設内に整備する予定です。

この度、実施設計が終了したことから、建設工事等に係る**継続費**を令和2年度から5年度まで設定します。

・袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業	91,653千円 (24頁)
・重度の強度行動障害のある方への支援体制整備事業【新規】	2,710千円 (24頁)
・千葉県就職氷河期世代支援加速化事業【新規】	12,246千円 (25頁)
・浜の活力再生プラン推進支援事業	253,810千円 (26頁)
・東京湾漁業総合対策事業	5,344千円 (26頁)
・(仮称)千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業 継続費	
	(R2～R5総額 21,433,000千円) (29頁)

4 今後について

- 今後も、感染症については、その影響を注視しながら、必要な対策を臨機応変に講じていくこととし、さらなる補正予算の編成も検討してまいります。

そのために必要な財源については、国に対し、強く確保を要望するとともに、県としても、引き続き、執行段階での節減や既存事業の見直しなどの取組※を徹底してまいります。

※9月補正予算における主な取組

・東京オリンピック・パラリンピックの延期による減	▲1,083,235千円
・ちばアクアラインマラソンの開催中止による減	▲204,654千円
・広報、観光振興、農林水産物販売促進事業の見直し等による減	▲486,167千円